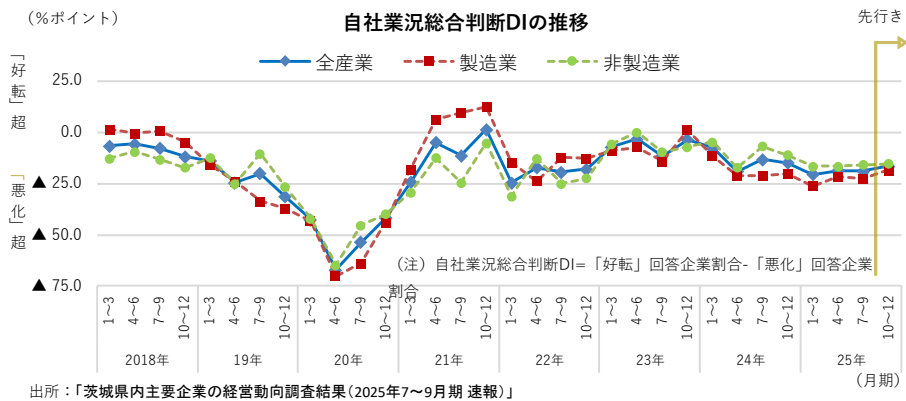


県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

<今月のポイント>

- 県内経済は、生産活動や住宅投資などに弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。
- 各項目のうち、公共投資は、公共工事請負金額が3か月連続で前年水準を下回ったことなどから、「持ち直しの動きが一服している」と判断を引き下げた。ただし、個人消費などが底堅く推移していることから、総合判断は前月の判断を据え置いた。
- 当社の「茨城県内主要企業の経営動向調査（25年7-9月期）」によると、県内企業の景況感を表す自社業況総合判断DIは全産業で横ばいであった。先行き（10-12月期）は製造業で4.3pt上昇、非製造業で0.7pt上昇（横ばい）の見通しとなっている。
- 先行きは、米国通商政策の影響や、新政権による国内経済政策、為替・金利等の金融市場の動向、物価高や賃上げ、企業の価格転嫁の動向等に注意する必要がある。



<基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの 変化	2025年10月調査	25年8月調査	25年9月調査	25年10月調査
総合判断	➡	一部に弱さがみられるものの、総じて みれば持ち直している			
生産活動	➡	弱い動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直しの動きが一服している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

生産は弱い動きとなっている

8月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値^{※1}）は95.1、前月比7.0％減と2か月連続で低下した。業種別の内訳をみると、鉄鋼（同8.7％増）が上昇した一方、輸送機械（同15.7％減）、化学（同13.0％減）、汎用・業務用機械（11.1％減）、食料品・たばこ（同6.5％減）等が低下した。

当社の企業調査によると、7-9月期の生産判断DI^{※2}は▲8.8％、前期比1.1pt減であった。企業ヒアリング（9月）では「半導体部品の生産実績は計画を上回っている」（化学）、「一部の白物家電は（海外の）安価品に押されて生産台数が伸び悩んでいる」（その他製造業）等、製造品目により好不調が分かれるといった声が聞かれた。

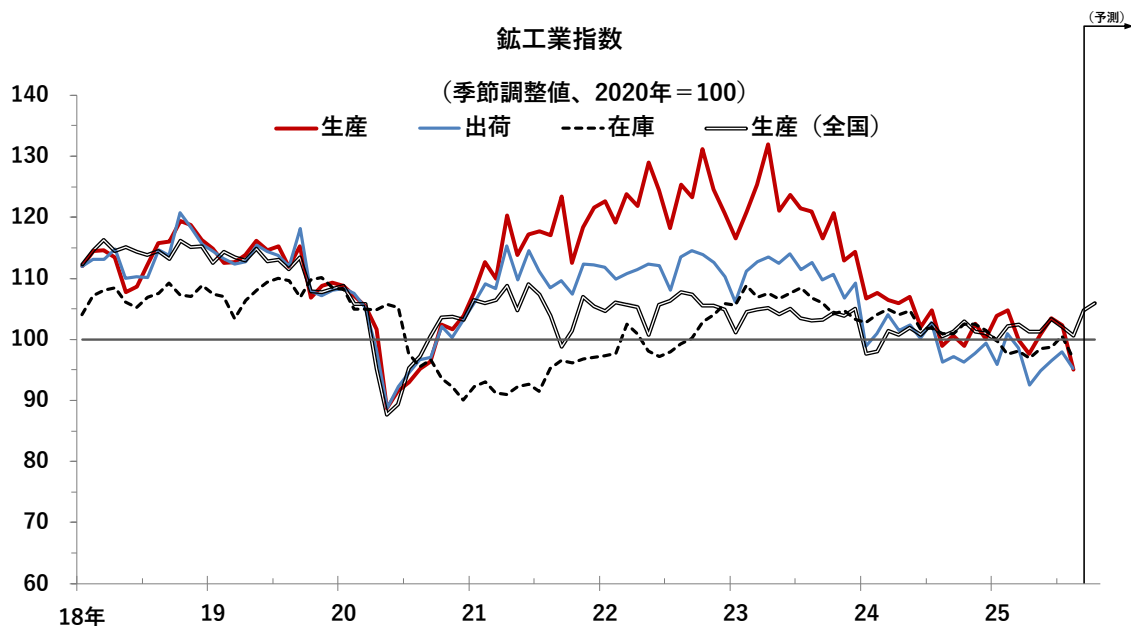
また、当社の「相互関税の影響に関する企業調査」（回答企業197社）によると、25年9月時点で、今後の相互関税の経営への影響について「マイナスの影響がある」と回答した県内企業は、製造業で50.0％であった。4月の調査では、同回答は75.9％であったため、過度の悲観論は後退したとみられるものの、依然として半数の製造業者が先行きを懸念している状況となっている。

以上を踏まえ、生産活動は総じてみれば「弱い動きとなっている」との判断を据え置いた。先行きについては、米国通商政策の影響や、自動車メーカー等の輸出関連企業の動向などについて、引き続き注意が必要とみられる。

なお、外需に係る貿易面についてみると、8月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,222億円、前年同月比27.8％減と13か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、主力の化学製品（同10.6％減）、鉄鋼（同42.3％減）がともに減少し同5.5％減、日立（日立港・常陸那珂港）も、主力の建設用・鉱山用機械（同17.8％減）、自動車（同46.2％減）^{※3}がともに減少し、同40.1％減であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値 ※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差

※3：数量（台数）ベースでみると、自動車（乗用車）は前年同月比38.7％減。



出所：経済産業省 * 月次ベース、全国の25年9、10月の生産指数は製造工業生産予測指数をもとに算出

設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直しの動きが一服

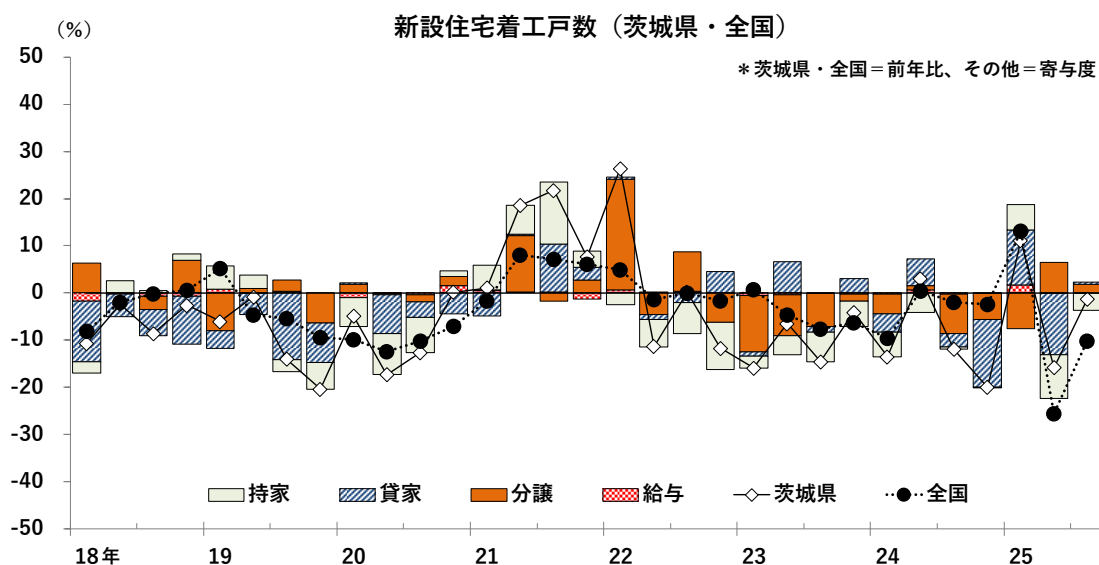
民間設備投資についてみると、8月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、工場や倉庫などの減少により50千㎡、前年同月比29.4%減と2か月連続で前年水準を下回った。

一方、日銀短観（茨城県、9月）によると、県内企業の25年度の設備投資額*（金額ベース）は、全産業で前年度比18.7%増の見通し（製造業：同22.7%増、非製造業：同4.0%増）。当社の企業調査（9月）によると、4-9月期に設備投資を実施した県内企業の割合（件数ベース）は60.7%と、前期比で3.1pt上昇した。両調査の結果からは、企業の投資意欲は全体として底堅く推移していることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

8月の新設住宅着工戸数は1,133戸、前年同月比3.3%減と4か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は535戸、同18.9%減と2か月振りに減少した。貸家は411戸、同28.4%増と5か月振りに増加した。分譲住宅は186戸（うち分譲マンション12戸）、同1.6%減と3か月振りに減少した。住宅着工戸数（総数）は、建築基準法改正前の駆け込み需要の反動や住宅価格上昇の影響により減少が続いている。もっとも、減少幅は概ね縮小傾向にあることから、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

9月の公共工事請負金額は496億40百万円、前年同月比1.0%減と、小幅ながら3か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、国が増加し、独立行政法人等、県、市町村が減少しており、圏央道の大型工事の一巡等が全体の減少の主な要因となっている。四半期別でみると、7-9月期は前年同期比10.5%減と、2四半期振りに減少した。請負金額の推移を踏まえ、公共投資は「持ち直しの動きが一服している」と判断を引き下げた。先行きは、25年度の県などの公共投資関連予算は概ね前年度並みで推移する見通しにあることから、横ばい圏内で推移すると見込まれる。

※ソフトウェアを含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 * 四半期ベース、25年3Qは7、8月の数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

9月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は9,217台、前年同月比2.8%増と、3か月振りに前年水準を上回った。内訳は普通乗用車が同1.6%増、小型乗用車が同9.8%減、軽乗用車が同13.8%増であった。自動車販売店へのヒアリング（9月）では、「（7-9月期は）ミニバン等の受注が好調」との声があった一方、新車投入が少ない等の理由で、先行きの販売を懸念する声も聞かれた。

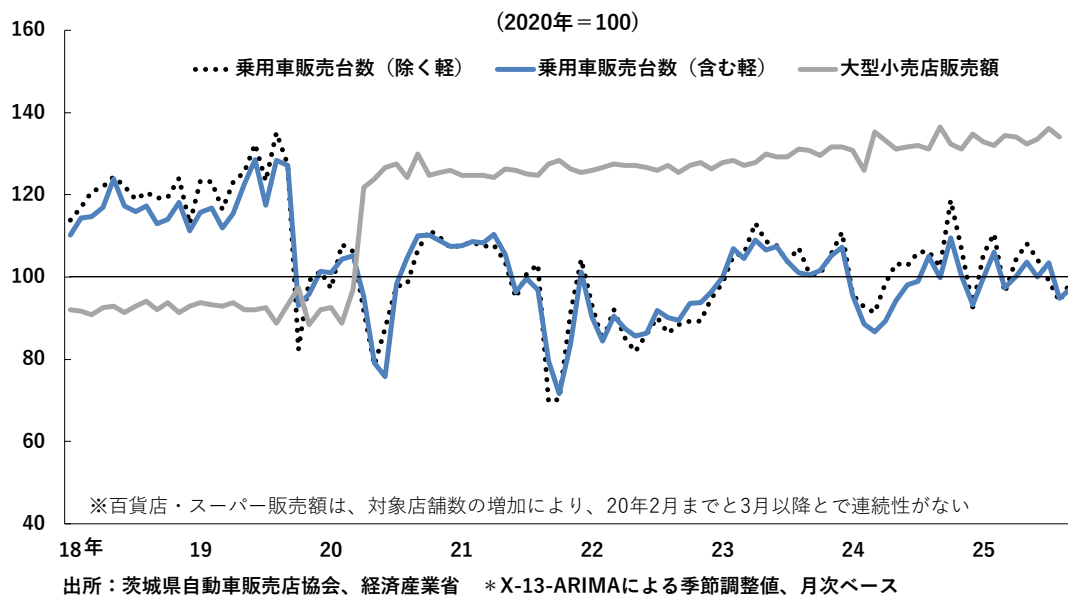
8月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.5%増、既存店ベースは同0.3%増と、ともに6か月連続で前年水準を上回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同8.3%増と2か月振りに前年水準を上回った。ホームセンターは同2.3%増と3か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは1.5%増と52か月連続で、コンビニエンスストアも同2.7%増と16か月連続で前年水準を上回った。

8月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、自動車購入費や、食料費などの増加により、前年同月比14.4%増と、3か月連続で前年水準を上回った。一方、消費マインドに関して、9月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は42.5、前月比2.0pt減と、判断の目安となる50を引続き下回った。

ヒアリング（9月）では、7-9月期の業績について「リニューアルにより集客・単価ともに増加し、売上高が前年と比較し増加した」（宿泊業）など観光需要が堅調であったとの声が聞かれた一方、「酷暑の影響により夏場は来場者数が減少基調にある」（ゴルフ場）など、猛暑により消費マインドが低下したの声も聞かれた。

このように個人消費は、物価高による消費マインドの低下などの影響を受けつつも、供給サイドの販売動向は総じてみれば堅調であることなどから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



雇用情勢は持ち直している―労働需給は引き続きタイトな状況

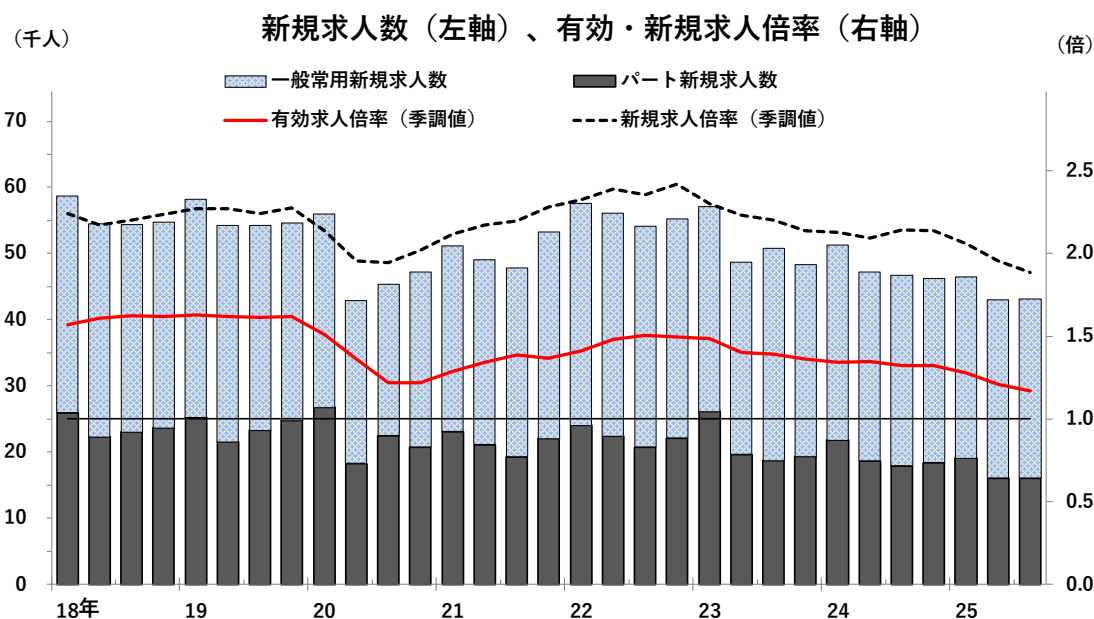
8月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.16倍、前月比0.02pt減と2か月振りに低下した。新規求人倍率は1.86倍、前月比0.05pt減と2か月連続で低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.36倍であった。

新規求人数は13,711人、前年同月比14.1%減と8か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は6,869人、同0.7%減と3か月振りに前年水準を下回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業（同71.0%増）、生活関連サービス業・娯楽業（同12.4%増）が増加し、医療・福祉（同25.9%減）、学術研究、専門・技術サービス業（同24.0%減）、運輸業・郵便業（同23.8%減）、建設業（16.1%減）、情報通信業（同15.0%減）、製造業（同14.4%減）等が減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は10,292人、前年同月比9.8%増と、4か月連続で前年水準を上回った。

一方、当社の「人手不足に関する企業調査」（回答企業216社）によると、25年9月時点における県内企業の正社員の充足度は「不足」が56.0%で最も多かった。正社員の不足感は、コロナ禍からの回復が落ち着いた前年（24年）に47.6%に低下したものの、今回調査では、非製造業や大企業で不足感が強まったことから前回調査比で8.4pt上昇した。

このように、雇用情勢は、人手不足を背景に労働需給がタイトな（引き締まった）状況に大きな変化がないことから、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。先行きの雇用情勢についても底堅く推移することが期待される。もっとも、県内の広告求人件数は足もとで前年割れに転じており、海外・国内景気の悪化により、企業の雇用に対する姿勢に変化が生じるかどうか注視する必要がある。



出所：厚生労働省 * 四半期ベース、25年3Qは7、8月の数値

茨城県経済動向 基調判断の推移

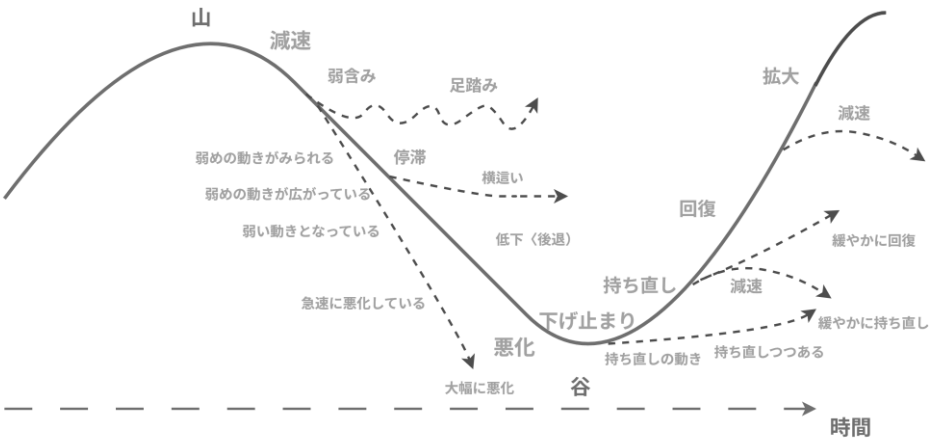
		基調判断
2022	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	5	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	6	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2024	9	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	12	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
2025	1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	4	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	5	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	6	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	7	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	8	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	9	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	10	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2024	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	12	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	4	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	5	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	6	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	7	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	8	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直しの動きが一服している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況

基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年10月24日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。